ホームページ

http//uchida-tamotsu.jimdo.com

南知多民報

発行 ： 日本共産党
南知多町委員会
連絡先 ： 町議会議員 内田 保
南知多町内海内塩田77-3
（TEL･FAX：0569-62-1816）

12月議会報告

新年　あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、「住民こそ主人公」の町政実現を目指し一層がんばります。

１２月議会は、９日に５人の一般質問がありました。日本共産党の内田保議員は、**①感染症対策で給食費・水道基本料金無償化の継続を ②保育所の入所条件の弾力化を ③第７次総合計画の充実のために ④第８期介護保険料の引き下げを**の４点について、質問・要請をし、当局の姿勢をただしました。また、**「７５歳以上の医療費患者負担２割引き上げ中止を求める意見書」**の採択を求める請願が町民から出され、内田議員が紹介議員として趣旨説明、賛成討論を行いました。

給食費・水道基本料金無償化施策の継続を

問　感染症が再び広がり南知多町でも積極的な対策が必要である。給食費や水道基本料金の無償化は町民に歓迎されている。第３次補正予算を利用し、少なくとも本年度末の３月まで継続し、家計を応援し続けることが必要ではないか。

答　企画部長

国の追加対策は今後確認するが、今のところ３月までの無償化を継続することは考えていない。感染症対策は、国、県、近隣市町などからの情報収集に務め検討していきたい。

保育所入所の柔軟な対応を

問　保育所の４月入所条件として、健康保険の種類で差別しているのか。

答　厚生部長

保育所の０歳・１歳児の入所基準は原則すべての保護者が常勤で、自分自身が勤務先で社会保険等に加入している、又は国民健康保険加入者で常勤の方と同程度の時間、就労している方としており、健康保険の種類で判断していない。

問　乳幼児入所後、保護者が解雇された場合も次の日から退所させることなく、保護者本人とその状況を話し合い一定の柔軟な保育期間の延長も認めるべきでないか。

答　厚生部長

現時点では、離職に伴う保育期間の延長は考えていないが、事前にご相談いただければ、設定変更などで対応している。保護者の方には、就労形態や家族状況が変わる場合はご相談いただくよう周知に努める。

内田議員のもとには、実際に国民健康保険だからと申込書さえもらえなかったという相談がありました。ぜひこの回答のように健康保険の種類で差別せず、柔軟な対応をしてもらいたいものです。
若い人が住みやすい魅力ある町づくりの一歩です。

第７次町総合計画の充実のために

問　ＧＩＧＡスクール構想（情報教育）に対応して、ＷＩＦＩ（インターネットに繋ぐ）環境がない家庭の児童への具体的な支援はどうか。

答　教育部長

一定の通信環境があるかどうかを調査し、環境がない場合の通信費、家に持ち帰るルールも今後第７次アクションプラン実施計画策定の中で検討していく。

問　子育てと仕事の両立できる町として、まず役場が率先して働く環境づくりとして、『役場内の男性育休率３０％取得』『リーダーシップをとる役職における女性の占める割合３０％』等がパブリックコメントに出されている。町長はどう考えるか。

答　町長

パブリックコメントでは、男性育休取得や役職における女性登用を始め、働きながら子育てする世代への支援拡充、働きやすい職場環境改善等多数のご意見をいただいた。役場が率先して子育てと仕事を両立できる環境整備に取り組み、南知多町全体の職場環境改善の機運を醸成するようにしたい。今後、男性育休の取得促進・女性管理職の適性配置で女性活躍を後押ししたい。

第８期介護保険料の引き下げを

問　５千円の基準保険料を２億円の基金を入れて第８期（２０２１年度～）保険料を引き下げ、応能負担の段階保険料を１３段階にすべきではないか。

答　厚生部長

介護保険料の基準額も保険料の多段階化についても介護保険運営協議会に諮って考えていきたい。

「一般質問、モニターでよくわかるようになった」

他市町の多くで活用されているモニターでの議会の視聴が町民からの要望もあり、今回から南知多町でも取り入れられました。傍聴者からは「当日別室で、一般質問の様子を画面でしっかり見ることができ、よくわかり良かったです。ただ、どの方の質問も短縮された３０分では足りない感じでした」という声が寄せられています。

たもつ日記

議会では、町民からの請願や陳情も審議され、採決されます。今回の南知多町議会では８つの陳情と１つの請願が出されました▼陳情では「社会保障の施策拡充について」や「師崎地区統合小学校の適正配置のお願い」などがありました。請願は「75歳以上の医療費負担２割の中止を求める意見書」の採択を求める請願です。高齢者人口の多い南知多なら当たり前の請願内容ですが、２人の賛成のみで否決されました▼９月議会には「日本政府に対し、核兵器禁止条約に批准を求める請願」が出され、否決されています。この意見書はすでに全国５１７自治体で採択されています（12月25日現在）▼阿久比町では12月21日の議会で同じ内容の請願が採択されました。無党派の議員も共産党の議員も一緒に提案し、賛成反対が６対６の同数でしたが、議長が「阿久比町議会が１９９５年に全会一致で世界平和の決議をしている、その決議と違う議決はできないと考えた」との思いで賛成し、採択されたそうです。保守・革新を越えて、核兵器をなくす世界の流れに参加した議会となりました▼良いことは良いと言える議会、町民のための民主的な南知多町議会になるよう、粘り強く働きかけていきます。